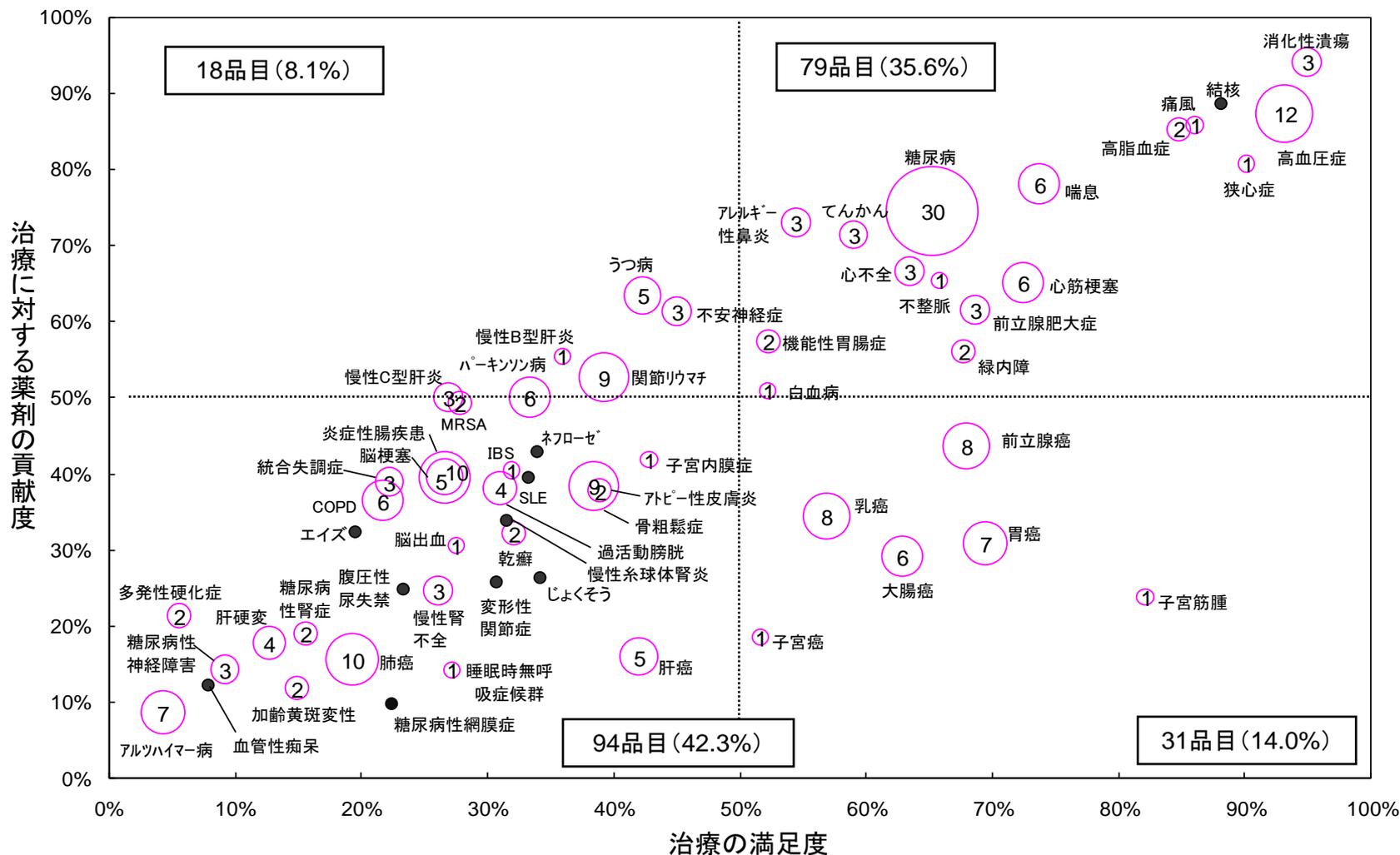


治療満足度(2005年)別にみた新薬の開発状況(2009年5月時点)

～製薬企業はアンメット・メディカル・ニーズの高い疾患に対応する新薬の開発に積極的に取り組んでいる～



注：2008年国内医薬品売上高上位20社(アステラス、アストラゼネカ、アボット、エーザイ、大塚、小野、協和発酵キリン、グラクソ・スミスクライン、サノフィ・アベンティス、塩野義、第一三共、大日本住友、武田、田辺三菱、中外、日本ベーリンガー、ノバルティス、バイエル、万有、ファイザー)の開発品をピックアップした。
 開発品の情報は、2009年5月時点で、各社がホームページで公表している情報、または、製薬協ホームページ「開発中の新薬」に各社が登録している情報に基づき、第1相～申請中の新有効成分含有医薬品、あるいは、新効能医薬品とした。 開発品は277品目(成分数)あり、このうち、178品目(のべ222品目)が2005年度の治療満足度調査の対象となった60疾患に関連するものであった。

国家主導の産学官協働 感染症ワクチン対策

危機管理

国民への完全自給とアジアへの貢献

一歩先んじた研究戦略

対感染症国家戦略(ビジョン)

厚生労働省、文部科学省

プロジェクト設立
研究資金投入

大学・
公的研究機関
各大学・国立感染症研究所、
医薬基盤研究所…

ワクチンメーカー
阪大微研、北里研究所、化血
研、デンカ生研…

研究の核として参画

産学官コンソーシアム／共同プロジェクト
(国家戦略)

主体的参画

基礎研究(新規アバジュバンド等)
実用・工業化研究(細胞培養等)

協力、資金提供

生産設備増強支援
生産量の策定、指示
全量買取

製薬企業

製造、安定供給

ワクチンメーカー・製薬企業

iPS知財支援プロジェクト

【製薬協・知財支援プロジェクト】

— 先端技術の知的財産の適切な保護と活用に向けて —

▶活動目的 製薬企業の国際的な知財活動での知識経験を最大限活用することにより、わが国発の画期的なiPS細胞関連の研究成果の特許保護の推進を支援し、わが国全体のイノベーションにつなげる

